

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	1540030	001
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	救急業務高度化推進(救急救命士新規養成)				
担当部名	消防本部		担当課名	救急課	
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	平成5 年度～	年度	根拠法令・関連計画	消防法、消防力の整備指針、救急救命士法 岐阜市救急業務高度化推進計画	

【2.事業概要】

事業の目的		高度な救急救命処置を実施することが認められている救急救命士を計画的に養成することで、市民に対して質の高い救急サービスを提供する。
事業の内容		高規格救急自動車への救急救命士搭乗率100%を達成するためには、1隊あたり3人の救急救命士を配置することが必要となるため、救急救命士養成機関(救急救命東京研修所等)へ約7ヶ月間派遣し救急救命士の養成を行う。
事業の 対象	何を	質の高い均一な救急サービス
	誰に	救急搬送の対象となる市民
	どのくらい	高規格救急自動車への救急救命士搭乗率100%を目指す
令和3年度 (実施内容)		令和3年実績 高規格救急自動車への救急救命士搭乗率100% 新規救急救命士6人養成

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,040	60	1,950	60	1,938	60
パートタイム会計年度 任用職員	0		0		0	
パートタイム会計年度 任用職員	0		0		0	
計(A)	2,040	60	1,950	60	1,938	60

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		12,145	10,122	12,236
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	救急救命士養成人数
項目	養成所研修費	12,145	10,122	12,236
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		12,145	10,122	12,236

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	14,185	12,072	14,174

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	14,185	12,072	14,174

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	管内住民(傷病者)	管内住民(傷病者)	管内住民(傷病者)
受益者数	543,598	539,606	533,525
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	26	22	27

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)）

活動指標名	救急救命士養成人数		単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	6	5	6	
実績値	6	5	6	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	救急車救急救命士搭乗率		単位	%
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	100	100	100	
実績値	99.99	99.99	100	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	○(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	質の高い救急救命処置により救命を望む市民ニーズは高い。救急救命士を計画的に養成し、病院前救護の質を向上させる。 消防責任を有する市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市民の生命・身体を守ることは何よりも優先して実施すべきことであり、病院到着までの限られた時間に、質の高い救急救命処置を行うことができる救急救命士を計画的に養成することで、均一な救急サービスに繋げる。 消防責任を有する市が担う必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	運用救急救命士の総数は前年比11人増加し124人となった。 令和3年救急出場件数、22,885件すべてに救急救命士が搭乗した。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	救急救命士の救急車への搭乗率は100%であり、質の高い均一な救急サービスに繋げた。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	現状維持	令和3年の救急出場件数は、前年比956件増の22,885件と過去3番目に多い出場件数となった。コロナ禍においても救急業務は、市民の生命身体に直結する業務であり市民からの期待が大きいことから、計画に基づき救急救命士を養成する必要がある。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	1540030	002
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	救急業務高度化推進(メディカルコントロール体制の構築)				
担当部名	消防本部		担当課名	救急課	
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	平成5 年度～	年度	根拠法令・関連計画	消防法、救急救命士法	

【2.事業概要】

事業の目的		メディカルコントロール体制を構築することにより、医学的観点から救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置の質を保障し、救命率の向上を図る。
事業の内容		医学的観点から救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置などの質を保障するために、①救急救命士に対する医師からの指示、指導、助言体制の強化、②救急活動の事後検証体制の確立、③救急救命士再教育体制の充実を図る。
事業の 対象	何を	質の高い均一な救急サービス
	誰に	救急搬送の対象となる市民
	どのくらい	救急活動事案ごとに随時実施
令和3年度 (実施内容)		病院実習等の救急救命士再教育を年間計画に基づき実施した。救急事後検証実施件数は1,441件で、重症事案に対する救命処置について検証医師からフィードバックを受けた。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	6,800	200	6,500	200	5,814	180
パートタイム会計年度 任用職員	0		0		0	
パートタイム会計年度 任用職員	0		0		0	
計(A)	6,800	200	6,500	200	5,814	180

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		1,670	1,559	1,585
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	事後検証費	1,670	1,559	1,585
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		1,670	1,559	1,585

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	8,470	8,059	7,399

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	8,470	8,059	7,399

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	管内住民(傷病者)	管内住民(傷病者)	管内住民(傷病者)
受益者数	543,598	539,606	533,525
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	16	15	14

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)）

活動指標名	救急活動事後検証数		単位	件
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	1,800	1,800	1,800	
実績値	1,532	1,417	1,441	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	救急車救急救命士搭乗率		単位	%
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	100	100	100	
実績値	99.99	99.99	100	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	○(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	質の高い均一な救急サービスを望む市民ニーズは高い。救急活動事後検証を活用し、検証医師からのフィードバックを受け、病院前救護の質を向上させる。 消防責任を有する市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	救急活動を書面で事後検証した結果を、消防本部で集約し各救急救命士と共有を図ることにより、質の高い均一な救急サービスに繋がった。 消防責任を有する市が担う必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	心肺停止・重症外傷・脳卒中・心筋梗塞等の重症傷病者搬送事案に対し、事後検証票を活用し、各種処置及び活動全般について、医療機関の検証医師による医学的見地からの改善を図るため、1,441件のフィードバックを受け、スキルアップに繋がった。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	フィードバックにより得られた知識等は、すべての市民に対する救急活動に反映されサービス向上に繋がった。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	現状維持	コロナ禍においても、高度化及び専門化する救急現場で、質の高い救急業務を行うため、指示・指導・助言、事後検証、再教育といった、メディカルコントロール体制の充実強化を継続的に行っていく必要がある。 また、全国的に問題となった搬送困難症例について、当消防本部では比較的円滑であり、今後もメディカルコントロール協議会との連携と感染防止の観点を取り入れた事後検証に取り組み救急体制を維持していく必要がある。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	1540030	003
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	応急手当普及啓発				
担当部名	消防本部		担当課名	救急課	
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	平成5 年度～	年度	根拠法令・関連計画	消防法	

【2.事業概要】

事業の目的		突然の病気やケガをした場合、救急隊が到着するまでの間に、現場に居合わせた人（バイスタンダー）が傷病者に応急手当を実施することは救命率を向上させるために重要である。応急手当を普及啓発し、安心・安全なまちづくりを実現する。			
事業の内容		市民からの要望に応じて、普通救命講習、上級救命講習、救命入門コース、ステップアップ講習、E-ラーニング、夜間救命講習、日曜救命講習及び応急手当普及員講習を実施する。			
事業の対象	何を	救命講習			
	誰に	市民、学校、自治会、消防団、女性防火クラブ、少年消防クラブ、事業所等各種団体			
	どのくらい	夜間及び日曜日などに定期実施、市民からの要望に応じて随時実施			
令和3年度（実施内容）		全ての救命講習受講者数6,151人			

【3.支出（行政コスト）】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,020	30	975	30	969	30
パートタイム会計年度任用職員	0		0		361	35
パートタイム会計年度任用職員	0		0		0	
計(A)	1,020	30	975	30	1,330	65

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		1,749	2,371	1,560
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	印刷製本費	240	244	87
	備品購入費	1,509	2,127	1,271
	消耗品費			202
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		1,749	2,371	1,560

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		2,769	3,346	2,890

【4.収入】

収入内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金				
県支出金				
市債				
使用料・手数料				
その他				
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		2,769	3,346	2,890

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	救命講習受講者数	救命講習受講者数	救命講習受講者数
受益者数	26,503	3,584	6,151
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	104	934	470

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	各種救命講習開催回数	単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	1,000	1,000	新型コロナのため設定せず
実績値	973	161	300

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	救命講習受講者	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	28,466	27,828	新型コロナのため設定せず
実績値	26,503	3,584	6,151
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	大切な人が目の前で倒れた時など、いざという時のために応急手当の知識や技術を取得したいと考える市民からのニーズは高い。 消防責任を有する市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市民の生命・身体を守ることは何よりも優先して実施すべきことで、救急隊到着までの空白時間にバイスタンダーが応急処置等を行うことは非常に重要であることから、応急手当の普及啓発を行う。 消防責任を有する市が担う必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	新型コロナウイルスの感染拡大により、救命講習の開催を約8ヶ月中止したため、救命講習講習開催回数が少なく、講習受講者数も6,151人となったが、講習再開を望む声は多く、受講者数の伸びは期待できる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	救命講習の開催に際しては、感染防止に留意し事業所等への出向や、消防署での日曜、夜間救命講習の開催など、あらゆる年齢層に受講の機会を広報した。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	救命講習の再開を望む市民の声は多く聞かれ、救命率向上のためには、バイスタンダーによる応急手当が重要であることから、応急手当普及啓発を今後も継続的に実施する。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	1540030	004
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	救急相談センター(＃7119)				
担当部名	消防本部		担当課名	救急課	
実施方法	委託(民間)	補助等の種類	-	実施主体	株式会社 法研
実施期間	令和3 年度～	年度	根拠法令・関連計画	消防法、消防組織法	

【2.事業概要】

事業の目的		急な病気やケガをした際、共通の短縮ダイヤル(＃7119)へ電話相談すると、看護師等に救急相談ができ、医療機関案内を受けることができる救急相談センター事業を実施することで、救急需要対策の推進及び市民への安心・安全の提供と救急医療機関受診の適正化を目的とする。
事業の内容		民間コールセンター委託方式とし、24時間、365日体制で看護師等の医療従事者から救急相談及び医療機関案内についてアドバイスを受けることができる。
事業の対象	何を	救急相談及び医療機関案内
	誰に	岐阜市、瑞穂市、山県市、本巣市、北方町に居住及び滞在している者
	どのくらい	6,000件
令和3年度(実施内容)		令和3年10月1日から令和4年3月31日までに救急相談2,102件、医療機関案内1,334件、その他180件の合計3,616件を実施した。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	-		-		1,938	60
パートタイム会計年度任用職員	-		-		0	
パートタイム会計年度任用職員	-		-		0	
計(A)	-	-	-	-	1,938	60

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		-	-	5,150
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	委託料			3,955
	通信費			412
	広報費			783
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
				0
計(D)=B+C		-	-	5,150

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	-	-	7,088

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	-	-	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	-	-	7,088

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者			管内住民数
受益者数			533,525
受益者負担額(千円)	-	-	0
受益者負担率(%)			0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			13

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	運用体制		単位	時間・日
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	-	-	24時間・365日	
実績値	-	-	24時間・365日	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	相談件数		単位	件
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	-	-	6,000	
実績値	-	-	3,616	
達成状況	-	-	×（未達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	看護師等の医療従事者が、電話で症状等を聞き取り、緊急度に応じたアドバイスをすることで潜在的な重傷者の発見・救護と不急な救急出動の抑制など救急車の適正利用効果から、より緊急性の高い事案に救急車を投入し市民へ安心安全を提供する。 消防本部管内の救急搬送人員の約40%が入院を必要としない軽症者であり、真に緊急を要する事案への対応が危惧され、さらに新型コロナウイルス感染症の影響による受診控え等住民の不安解消の受け皿としての役割もあるため、県下一律ではなく先行実施する。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	看護師が症状等を聞き取り、緊急度を判定し、適時適切な受診のタイミングについてアドバイスをすることで、救急車の適正利用と相談結果から時間外受診をせずに済んだ場合の医療費の適正化。 電話相談業務に精通した看護師が所属する民間コールセンター委託方式とし、総務省消防庁の電話相談プロトコルを使用して、毎月平均600件を電話対応し、そのうち約48%の方に受診不要のアドバイスを実施した。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	令和3年度中の年齢別内訳として14歳以下が1,054人の約29%、15歳～64歳までが1,682人の約47%、65歳以上が821人の約23%、不明59人の約1%であり、15歳～64歳の生産年齢層の利用率が高いことから、かかりつけ医をもたない市民への適時適切な受診機会と安心安全の提供に有効性が見込まれる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	相談料は無料であるが、消防本部までの電話代は、相談者が負担している。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。))・廃止)	現状維持	令和3年度中の3,616件の相談件数のうち、電話相談に応じた看護師が最緊急と判定し319件を119番に誘導したところ、脳梗塞など潜在的な重傷者の発見・救護に効果があった。また、1,727件については医療を必要としない非緊急と判定され、不急の救急出動の抑制と医療機関の時間外受付数の減少に効果が見込まれる。今後も高齢化の進展や核家族化の進行等により救急電話相談の需要は増加が予測され、市民への安心・安全の提供のため、本事業を継続する必要がある。